

## 第4章 排出削減対策

### 第1節 アンケート調査

地球温暖化対策の策定や普及には、行政だけでなく、町に暮らす町民の理解や協力が必要です。このため、町民が現状の地球温暖化問題やこれからの地球温暖化対策にどのような意識や考えを持っているかを把握することを目的として、町民を対象としたアンケートを実施しました。

#### 1 調査内容

- (1) 地球温暖化問題についての関心・認知度の把握
- (2) 現状での地球温暖化対策の実施状況
- (3) これからの地球温暖化対策への意識

#### 2 調査対象と回収状況

町民を対象に実施

#### 3 調査期間

平成21年10月23日～平成21年11月6日（7日回収締切）

#### 4 調査方法

選挙人名簿から無作為抽出し、郵送で配布・回収（無記名）

#### 5 実施対象と回収状況

20代～70代男女各40名の計480名の町民を対象

245名回収（51%の回収率）

選択項目	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	28	11.4%	14	14.7%	14	10.5%	0	0.0%
30代	34	13.9%	14	14.7%	19	14.3%	1	5.9%
40代	47	19.2%	21	22.1%	24	18.0%	2	11.8%
50代	47	19.2%	18	18.9%	29	21.8%	0	0.0%
60代	54	22.0%	20	21.1%	27	20.3%	7	41.2%
70代以上	35	14.3%	8	8.4%	20	15.0%	7	41.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	245	100.0%	95	100.0%	133	100.0%	17	100.0%

## 6 アンケート集計結果の概要

### アンケート結果の概要

町民が地球温暖化問題やその対策等に関してどのような考えを持っているのかを把握する目的で、町民を対象に郵送によるアンケートを実施しました。

なお、以下に示すグラフは、四捨五入をして数値を示していることにより、合計が100%にならない場合があります。

#### ①地球温暖化に関する関心

地球温暖化問題を「知っている」と答えた人は全体の88.6%、「非常に関心がある」または「関心がある」と答えた人は82.4%で、認知度、関心ともに高い結果があらわれました。

世代別に関心を比較すると、若年層はやや関心が低くなりました。

図 1-1 地球温暖化の認知度

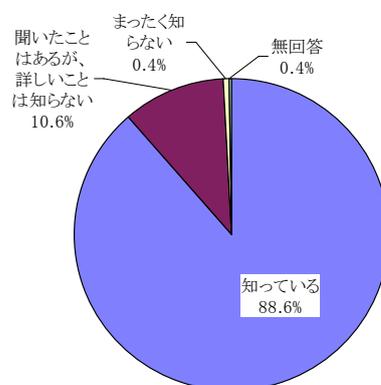


図 1-2 地球温暖化への関心度

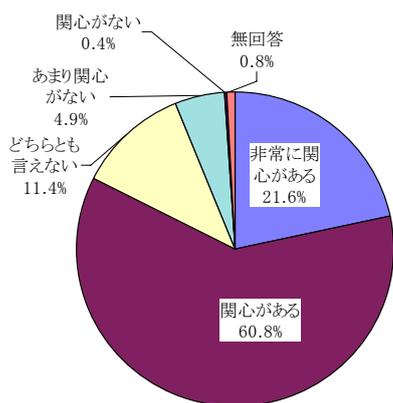
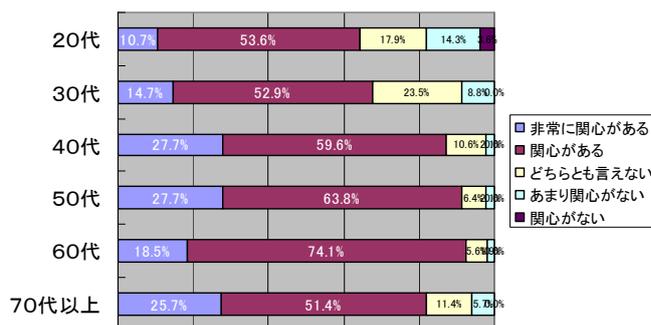
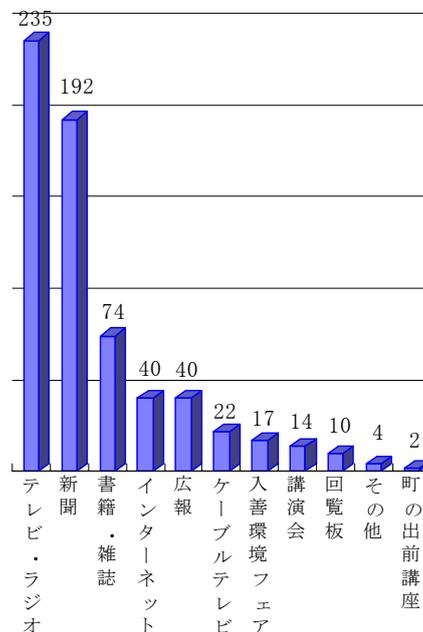


図 1-3 地球温暖化への関心度（年代別）



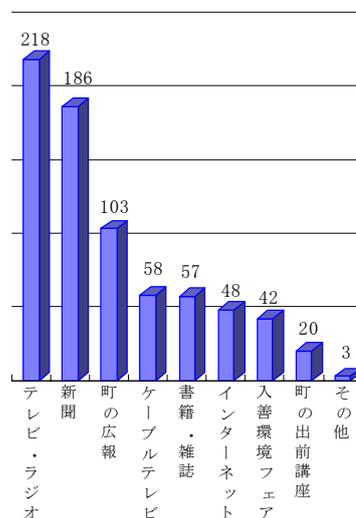
地球温暖化に関する情報源は、テレビ・ラジオが最も多く、新聞、書籍・雑誌、インターネット、広報と続きました。

図 1-4 地球温暖化の情報源



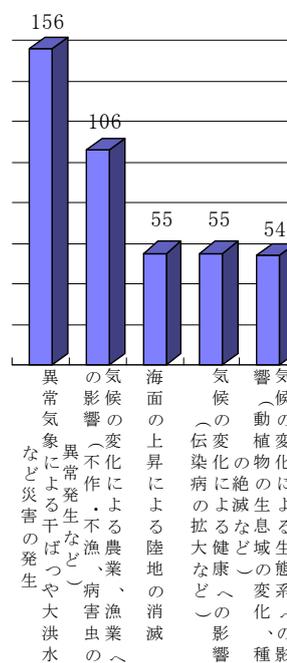
また、地球温暖化の情報源の希望としては、テレビ・ラジオが同じく高くなりましたが、町の広報やケーブルテレビの比率も高くなりました。

図 1-5 地球温暖化の情報源の希望



地球温暖化で不安に感じることは、「異常気象による干ばつや大洪水の発生」がもっとも多く、「気候の変化による農業、漁業への影響（不作・不漁、病虫害の異常発生など）」、「海面の上昇による陸地の消滅」、「気候の変化による健康への影響（伝染病の拡大など）」、「気候の変化による生態系への影響（動植物の生息域の変化、種の絶滅など）」、と続きました。

図 1-6 地球温暖化で不安に感じること



地球温暖化は進んでいると思うかの問いに対し、90.3%の人が「思う」と回答しました。「思う」と回答した人のうち、地球温暖化が進んでいると思う理由としては、「雪が積もらなくなった」がもっとも多く、「一年を通して気温が高くなった」、「異常気象が多くなった（大雨・強風・干ばつ・冷夏など）」、「昔見ることができた動植物がいなくなった」、「今まで見なかった動植物が現れた」と続きました。

図 1-7 地球温暖化は進んでいると思うか

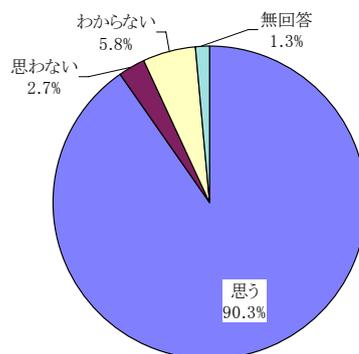
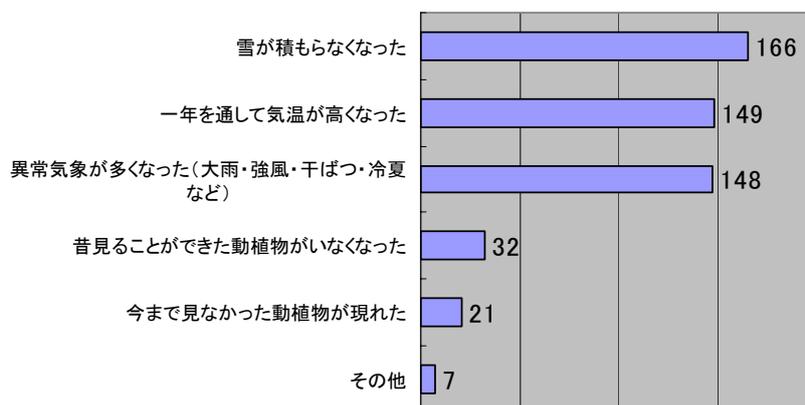
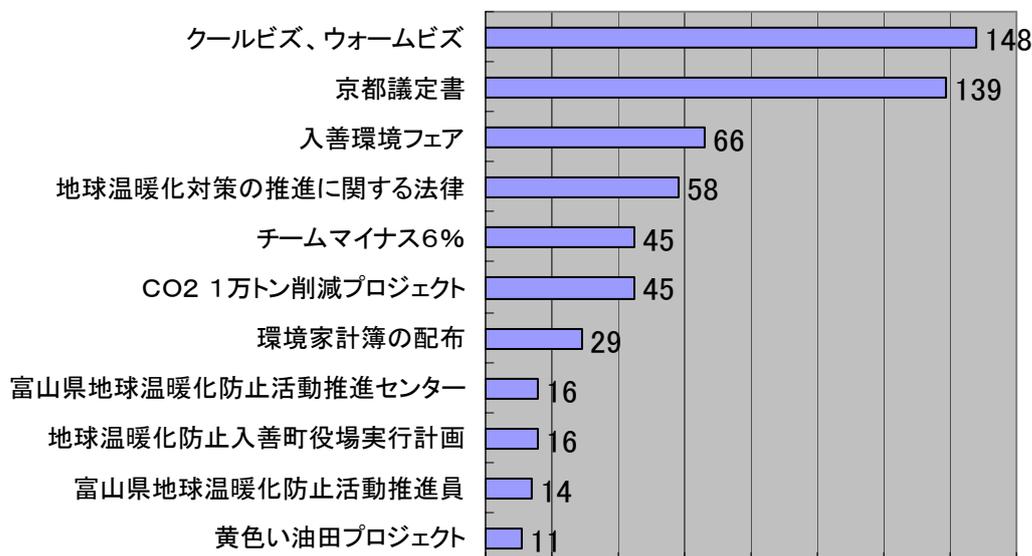


図 1-8 地球温暖化は進んでいると思う理由



地球温暖化に関する取り組みで知っているものとしては、「クールビズ、ウォームビズ」が最も多く、入善町の取り組みとしては、環境フェアがもっとも多くなりました。

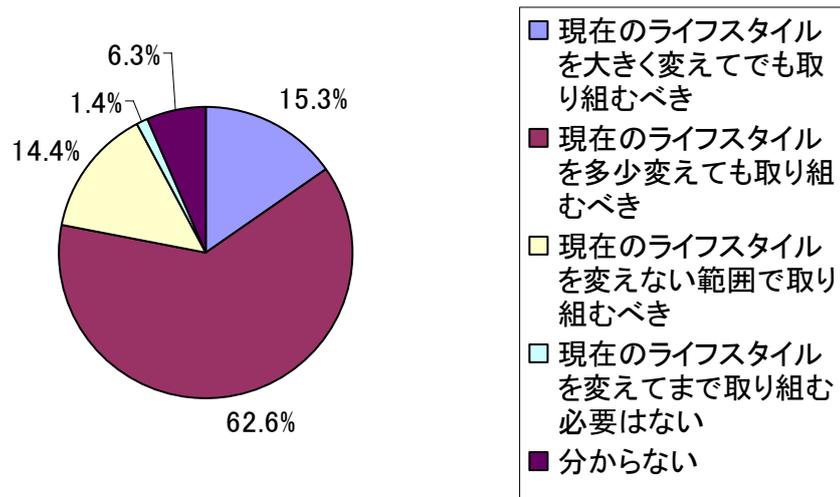
図 1-9 地球温暖化に関する取り組みで知っているもの



## ②地球温暖化対策への意識

地球温暖化問題について、どのように取り組むべきかの問いに対し、「現在のライフスタイルを大きく変えてでも取り組むべき」または、「現在のライフスタイルを多少変えても取り組むべき」と答えた人は、77.9%で、地球温暖化対策に向けて現在のライフスタイルを変えるべきと考えている人の割合が高くなりました。

図 2-1 地球温暖化問題について、どのように取り組むべきか



家庭で実践している地球温暖化対策の取り組みについては、省エネルギー関連、自動車関連、廃棄物関連それぞれで、ほぼすべての人が何らかの取り組みをしていると答えました。

その反面、地域での地球温暖化対策の取り組みは、20.2%の人が「参加したことがない」と回答しています。

地域での地球温暖化対策の取り組みにおいて、参加したことがあるもの、今後参加してみたいものともに「地区での資源、廃品回収」がもっとも多くなりました。

図 2-2 実践している省エネルギーの取り組み（複数回答）

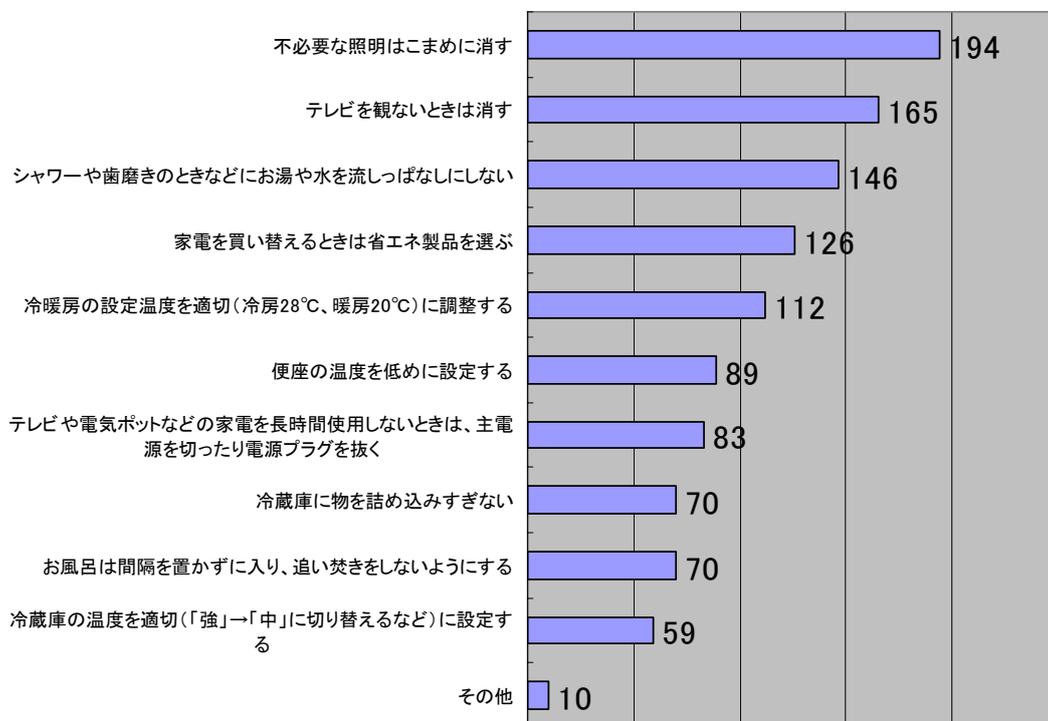


図 2-3 実践している自動車の利用に関するの取り組み（複数回答）

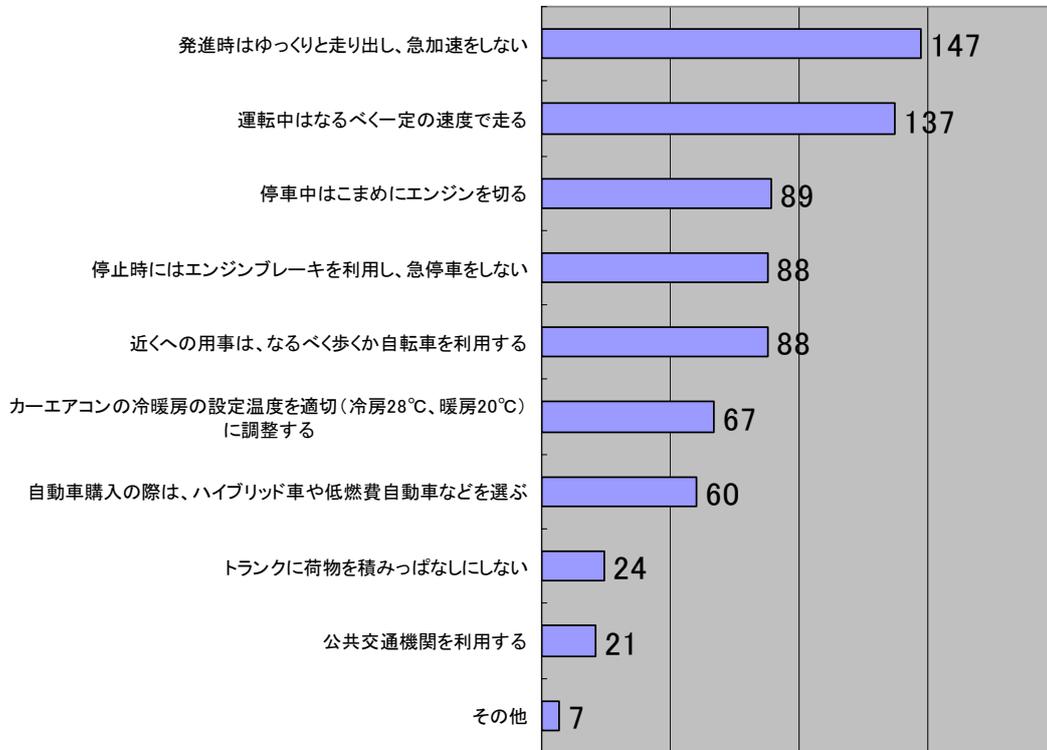


図 2-4 実践しているリサイクル、ごみの減量化に関するの取り組み（複数回答）

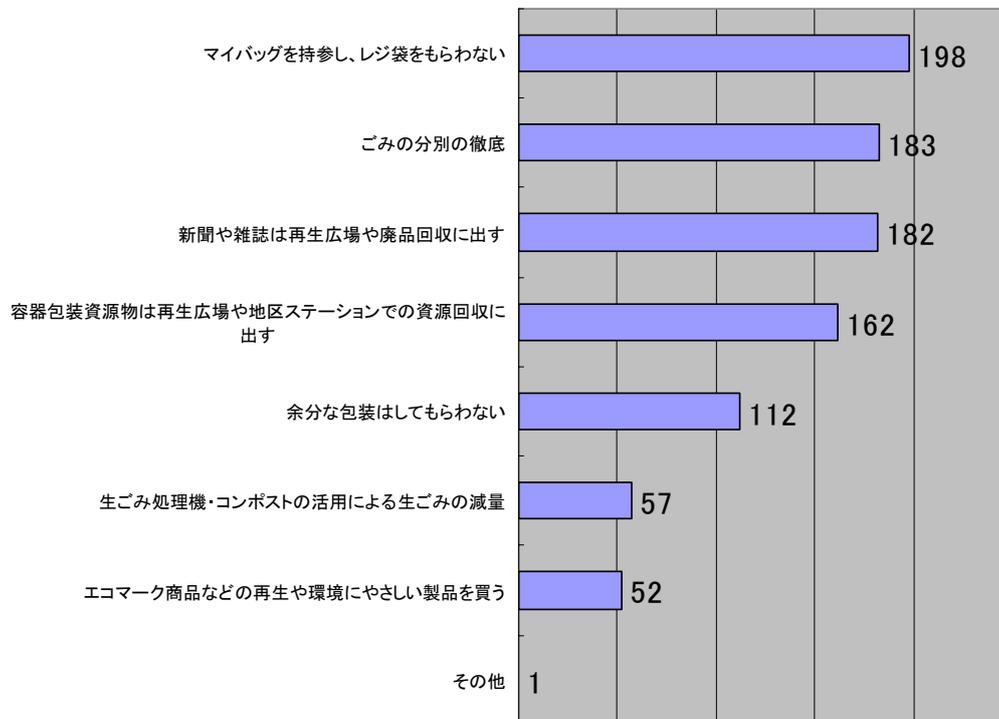


図 2-5 これまでに参加したことがある地域での取り組み（複数回答）

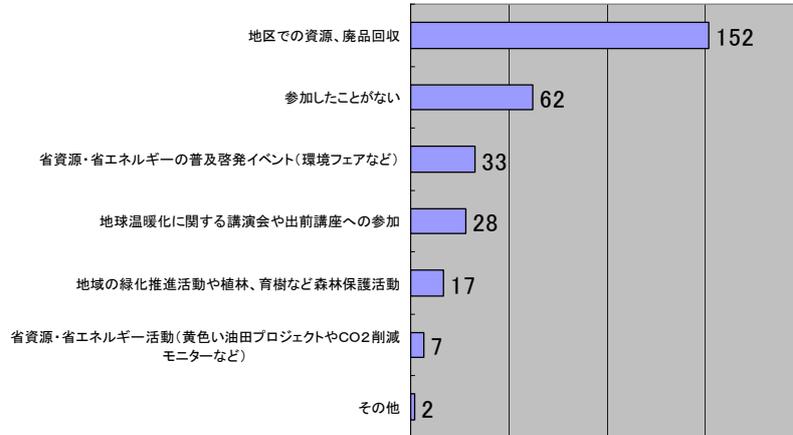


図 2-6 「参加したことがない」人が取り組みに参加しない理由

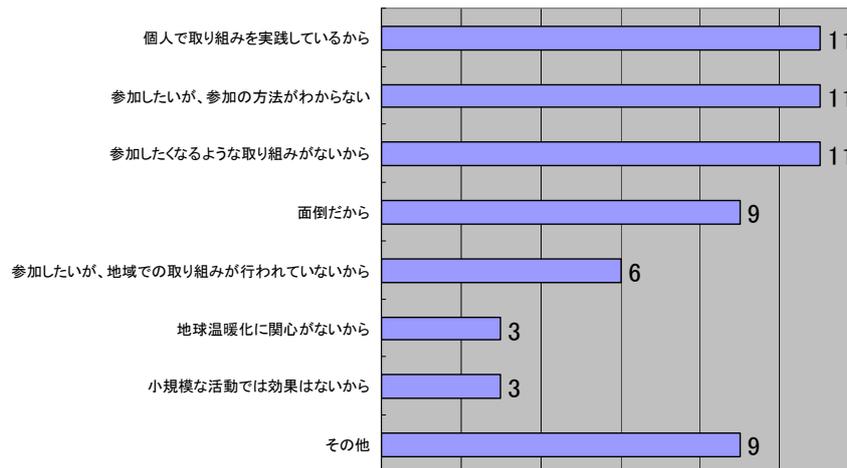
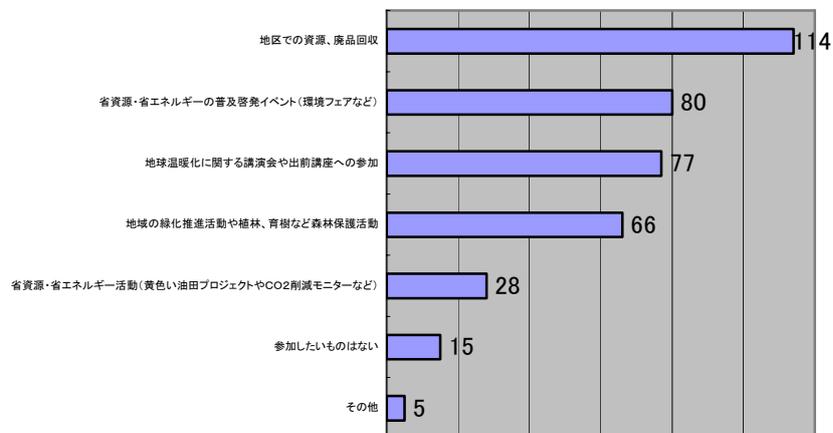


図 2-7 今後、参加してみたい地域での取り組み



### ③町民、企業、行政が取り組むべきこと

町民、企業、行政が取り組むべきことの問いでは、それぞれの分野で上位に「省資源・省エネルギーの実施」、「省エネルギー設備の導入」が入りました。これによって、現段階での町民における地球温暖化対策の要点は、省エネルギーとして捉えられていることがわかりました。

図 3-1 町民が取り組むべきこと（回答は3つまで）

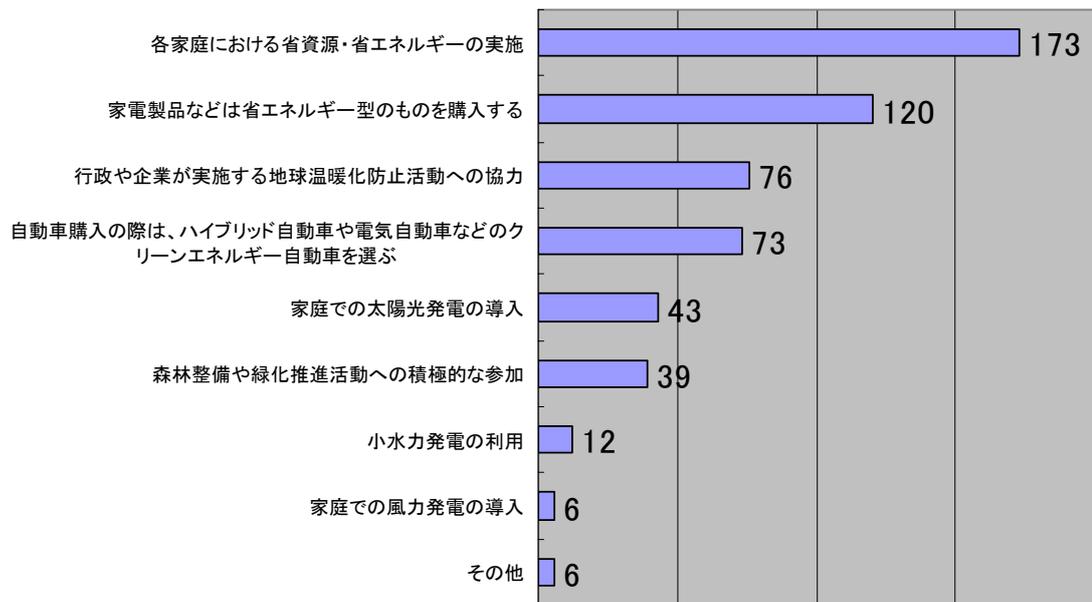


図 3-2 企業や団体が取り組むべきこと（回答は3つまで）

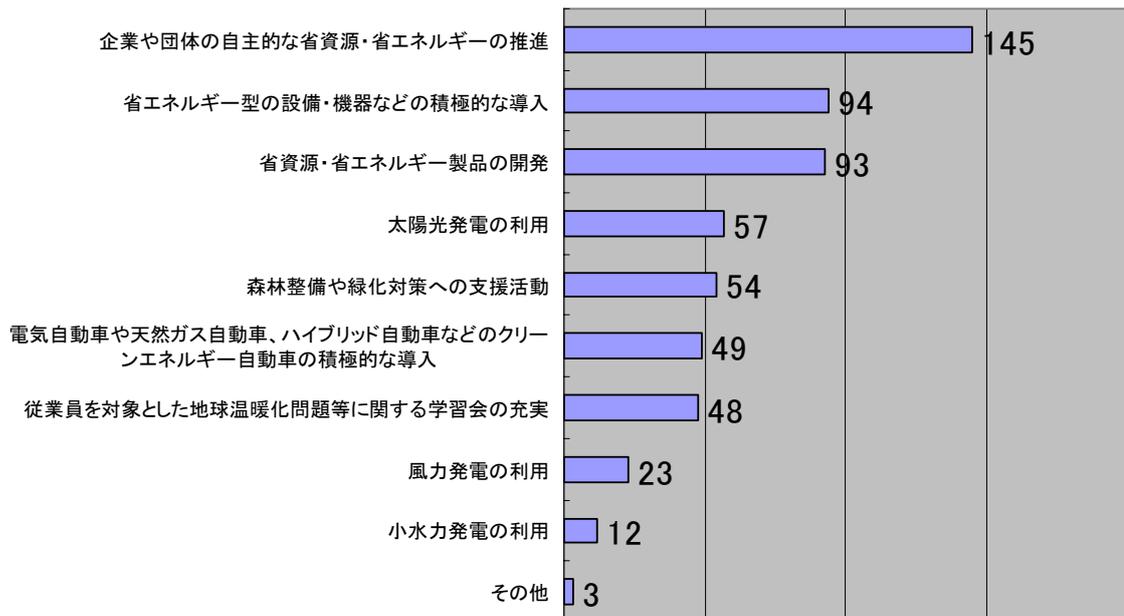
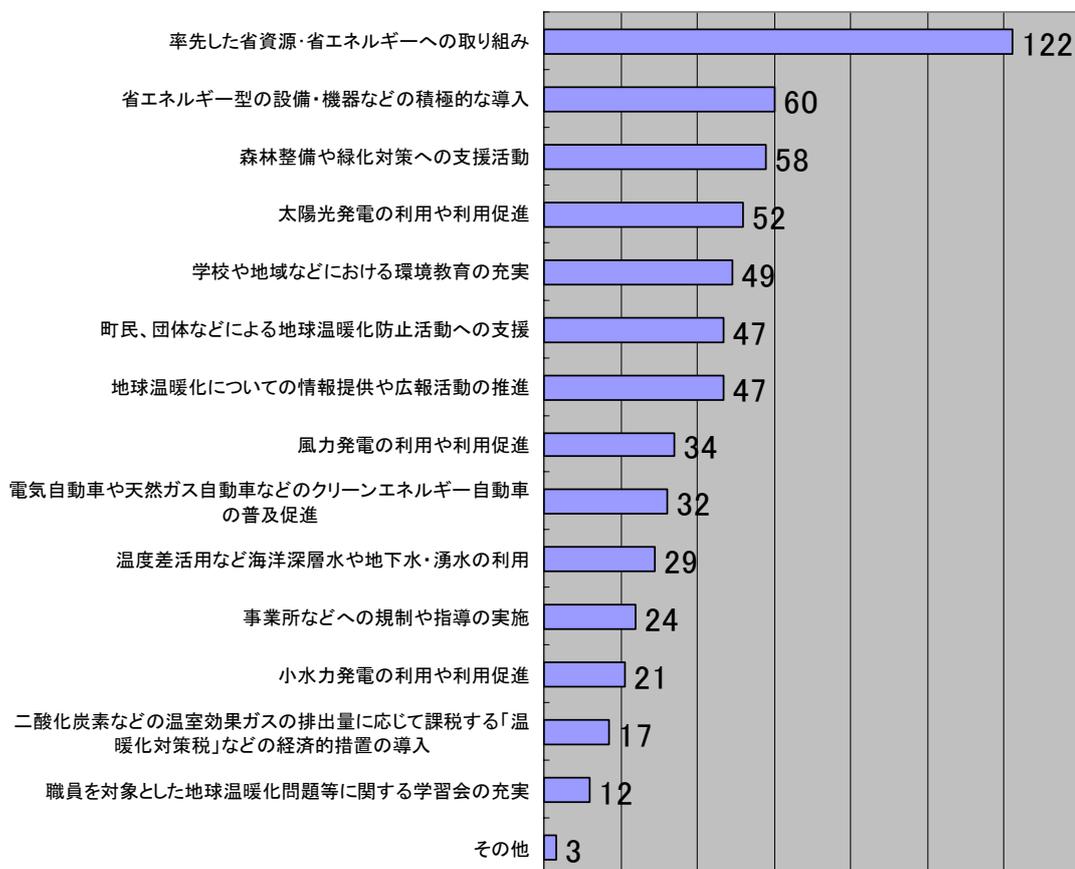


図 3-3 行政が取り組むべきこと（回答は3つまで）



## 第2節 具体的な施策

入善町地球温暖化対策地域推進計画では、具体的な温室効果ガス排出量削減の施策を省エネルギー関連、新エネルギー関連、廃棄物の減量の推進、森林による二酸化炭素吸収源対策及び環境教育・啓発の5つの分野に分けて策定します。

### 1 省エネルギー関連施策

省エネルギー関連施策は、町民や事業者が温室効果ガスの排出の抑制等に関する活動の促進に関する施策です。

町では、平成20年度より取り組み始めたCO<sub>2</sub>10,000トン削減プロジェクトにおいて、省エネルギー関連施策を行っています。「CO<sub>2</sub>10,000トン削減実践プログラム・環境家計簿」の配布により民生家庭部門及び企業モニターの実施による産業部門の温室効果ガス削減に取り組みます。

### 2 新エネルギー関連施策

新エネルギー関連施策は、太陽光、風力及び小水力等化石燃料以外のエネルギーであって、入善町の自然的条件に適したものの利用促進に関する施策です。新エネルギー導入施策として、町では、平成21年に地域特性を生かした新エネルギーの導入を推進する「入善町地域新エネルギービジョン」を策定しました。

また、入善下水浄化センターでの風力発電や地区公民館での太陽光発電などが公共施設で稼動しています。さらに、住宅用太陽光発電システム導入事業補助金制度により、民生家庭部門での新エネルギー導入の支援を継続します。これら新エネルギーの普及を図る一方、今後は、国や県が二酸化炭素削減に関する諸施策の実施に際して、広く町民への普及を図れるよう対応していきます。

一方、JAみな穂農業協同組合が実施している黄色い油田プロジェクトでは、廃食油をBDF燃料化することで新エネルギー化を行っています。

### 3 廃棄物の減量の推進施策

廃棄物の減量の推進施策は、入善町における廃棄物等の発生の抑制や循環型社会の形成に関する施策です。

町では、資源ごみ回収常設ステーション（再生広場）や各地区ごみステーションでの資源回収を実施するなど、リサイクルの機会を提供しています。また、資源回収団体報奨制度により、各種団体の資源回収活動を支援しています。

そのほか、生ごみ処理器具等設置事業補助金制度により、家庭での生ごみ処理機の購入を補助しています。

#### 4 森林による二酸化炭素吸収源対策

生活の中で発生した二酸化炭素は、森林によって吸収され、自然界へと還元されます。

現有森林のほかに、緑化推進による森林の拡張を二酸化炭素吸収源として算定しています。

#### 5 環境教育・啓発施策

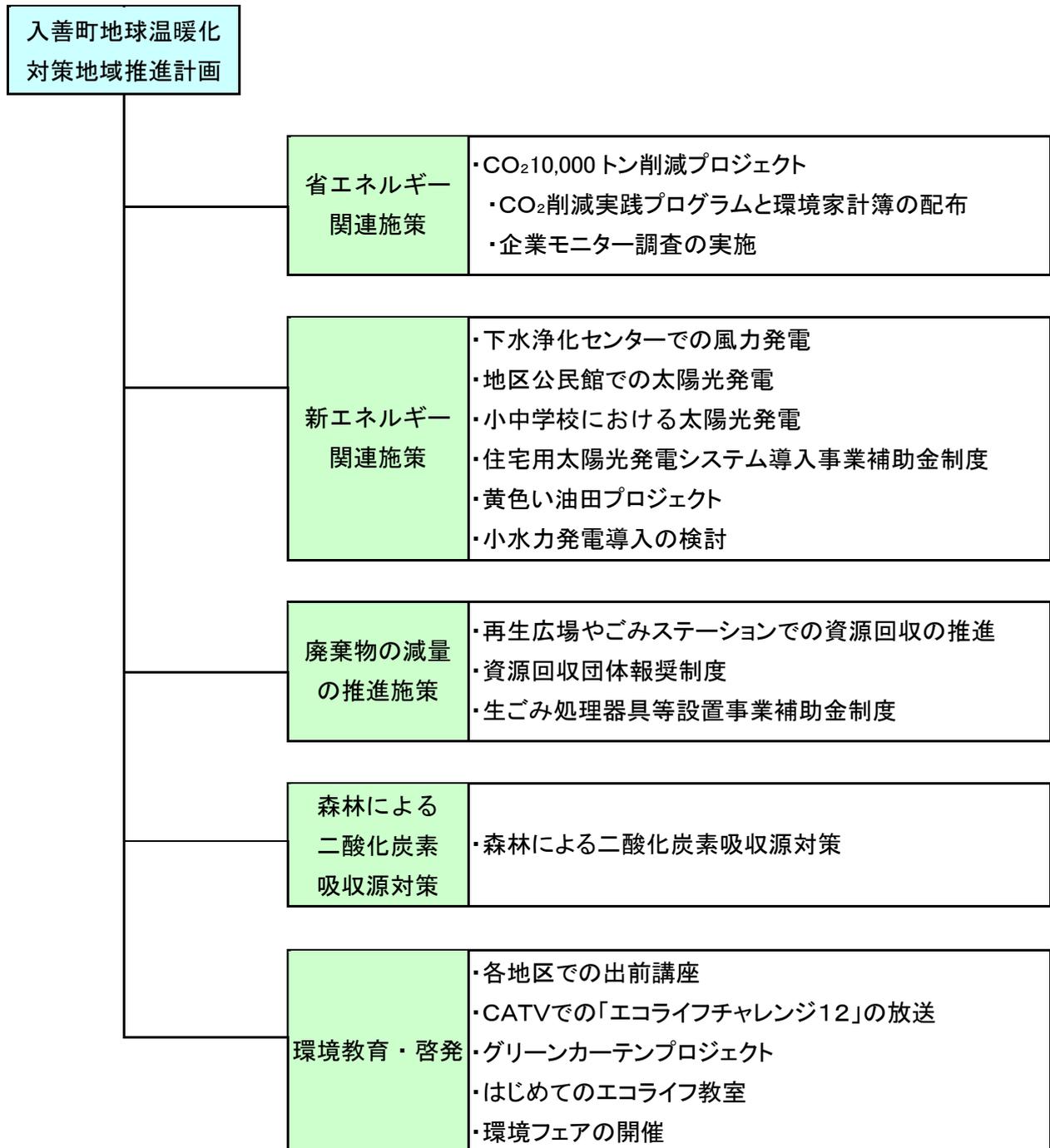
環境教育・啓発施策は、町民においての地球温暖化問題や入善町が取り組む地球温暖化対策の施策への理解を深めてもらうことに関する施策です。

町では、各地区への出前講座やCATVでの「エコライフチャレンジ12」による地球温暖化対策の啓発を実施しています。また、公共施設などでの緑化を推進することで、冷房等の省エネルギー化に加え、目に見える地球温暖化としての啓発も行います。

環境教育としては、富山県地球温暖化防止活動推進員による幼児を対象とした「はじめてのエコライフ教室」の開催や入善町環境保健衛生委員による地域住民への啓発に努めます。

また、入善環境フェアの開催し、町民、事業所及び行政が一体となった地球温暖化問題への共通の認識を深め、二酸化炭素排出の削減及び抑制への意識高揚を図ります。

具体的な施策体系図



## 1 省エネルギー関連施策

CO <sub>2</sub> 10,000 トン削減プロジェクト	
「CO <sub>2</sub> 10,000 トン削減実践プログラム・環境家計簿」の配布	
所管	入善町 住民環境課
施策種別	家庭での地球温暖化対策の推進・普及啓発
目的・意義	入善町における民生家庭部門の温室効果ガス排出削減対策とその啓発
対象	町内全世帯
削減効果	4,155t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>「CO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラム・環境家計簿」を全戸配布。また、町のホームページからもダウンロードすることができる。</p> <p>この「CO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラム・環境家計簿」では、節電や省エネ家電の購入など家庭から排出されるCO<sub>2</sub>を削減する生活・エコライフの推進や定着を目指すもので、「環境家計簿」では、実践プログラムでの削減の成果や光熱費の節約による家計への還元を確認することができる。</p>  <p>取り組み内容は、難易度に応じて区分されており、一度取り組みれば効果が持続する<b>初級編</b>、習慣づけていくことで効果が現れる<b>基本編</b>、基本編の中でも特に難しい<b>上級編</b>、車でのお出かけの際に取り組む<b>エコドライブ編</b>に分けられる。</p> <p>それぞれの取り組みには、二酸化炭素排出削減量が併記されており、初級編：156kg-CO<sub>2</sub>、基本編：200kg-CO<sub>2</sub>、上級編：335kg-CO<sub>2</sub>、エコドライブ編：304kg-CO<sub>2</sub>の削減効果がある。</p> <p>・<b>家庭モニターの実施</b></p> <p>実践プログラムの効果の確認や改善点の発見のため、町内から家庭モニター50世帯を募集し、7月～9月の期間に、配布した実践プログラムによる二酸化炭素排出削減効果を測定する（二酸化炭素排出量は、7月～9月の電気使用量を前年同月との比較による調査）。</p> <p>ライフスタイルの変化や家庭モニターの実績に応じて、実践プログラムの内容を改良し、より効果的な地球温暖化対策を実践できるように改善する。</p>

アンケート調査では、77.9%が地球温暖化対策のために「ライフスタイルを変えてでも取り組むべき」と答えたことを参考に、70%の世帯で上級編まで取り組んだ場合、4,155t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素削減効果となる。

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
初級編 (156kg-CO <sub>2</sub> )	← 670.0	50%実施 670.0	670.0	670.0	60%実施 804.0	804.0 →
基本編 (200kg-CO <sub>2</sub> )	0.0	← 859.0	50%実施 859.0	859.0	859.0	60%実施 1,030.8 →
上級編 (335kg-CO <sub>2</sub> )	0.0	0.0	← 1,438.8	50%実施 1,438.8	1,438.8	1,438.8 →
計	670.0	1,529.0	2,967.8	2,967.8	3,101.8	3,273.6

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
初級編 (156kg-CO <sub>2</sub> )	← 804.0	60%実施 804.0	← 938.0	70%実施 938.0	938.0 →
基本編 (200kg-CO <sub>2</sub> )	← 1,030.8	60%実施 1,030.8	1,030.8	70%実施 1,202.6	1,202.6 →
上級編 (335kg-CO <sub>2</sub> )	← 1,726.6	60%実施 1,726.6	1,726.6	70%実施 1,726.6	2,014.4 →
計	3,561.4	3,561.4	3,695.4	3,867.2	4,155.0

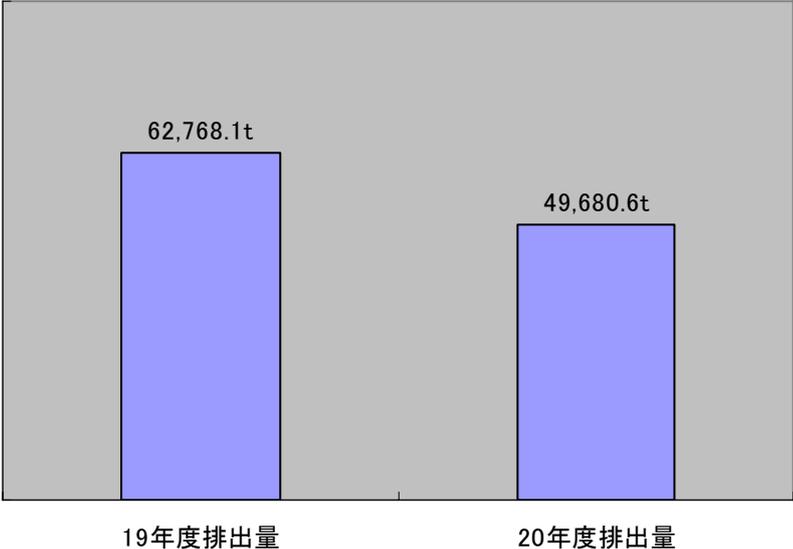
計画最終年の2020年までに一世帯当たり4,155 t-CO<sub>2</sub>の削減効果を目指す。

取組実績

平成20年度のモニター調査の結果、二酸化炭素削減効果のあった世帯は50世帯中36世帯で、全体の72%にあたる。  
これらの結果を平均すると、モニター世帯一月当り約12.5kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素削減効果があった。目安として入善町全世帯(8,604世帯)に換算した場合、1年間で1,286.2t-CO<sub>2</sub>の削減効果が見込まれる。

備考

課題として、「CO<sub>2</sub>10,000トン削減実践プログラム・環境家計簿」の認知度と実践率を高めていくために、各地区や婦人会など、一つの家庭だけでなく地域で連動した活動を提言していく必要がある。  
また、現在の紙ベースによる配布の方式から電子データによる配布への切り替えなど、施策自体の省資源化も課題となる。  
なお、個別の二酸化炭素削減効果を計算する場合、取り組み内容を正確に評価するために原単位は、2005年度当時のものを使用する。

CO <sub>2</sub> 10,000 トン削減プロジェクト 企業モニターの実施							
所管	入善町 住民環境課						
施策種別	町内企業での地球温暖化対策の推進						
目的・意義	入善町における産業部門の温室効果ガス排出量の把握と排出の抑制						
対象	町内の企業						
削減効果	10,157.2t-CO <sub>2</sub> /年						
取組内容	<p>町内企業よりモニターを募集し、省エネルギー調査を実施。 平成20年度は、モニター調査を上半期（7月～12月）、下半期（1月～6月）に行い、期間内におけるエネルギー（電気、重油、軽油、灯油、LPG、ガソリン）使用量を対象に前年同月との比較により調査。</p> <p>平成17年度排出量101,571.9t-CO<sub>2</sub>を基準に計画最終年までに二酸化炭素排出量の10%削減の目標を呼び掛ける。</p>						
取組実績	<p>平成20年度は、8社をモニター調査、の二酸化炭素排出量は、49,680.6t-CO<sub>2</sub>で、19年同時期の62,768.1t-CO<sub>2</sub>と比較すると、13,087.4t-CO<sub>2</sub>の削減効果となり、約21%の削減率となった。</p> <p style="text-align: center;"><b>モニター全体での二酸化炭素排出量</b></p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年度</td> <td>62,768.1</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>49,680.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	19年度	62,768.1	20年度	49,680.6
年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )						
19年度	62,768.1						
20年度	49,680.6						
備考	<p>課題としては、各企業の業種の違いにより、統一的な地球温暖化対策を示せないことや景気による生産活動の変化など、地球温暖化対策以外の要因による温室効果ガス削減が見られる。</p>						

## 2 新エネルギー関連施策

下水浄化センターにおける風力発電の活用	
所管	入善町 建設下水道課
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	自然エネルギーの利用促進
対象	下水浄化センター
削減効果	1,257t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>1 概要</p> <p>入善浄化センターは日本海に面し1年を通して風の強い地域特性から、省資源・省エネルギー温室効果ガス削減による地球温暖化防止及び維持費の低減を目的に、風力発電による省エネルギー型の下水道システムを導入。</p> <p>入善町では公共用水域の水質保全と生活環境の改善を目的に、平成8年に下水道事業に着手し、平成13年9月から入善浄化センターの供用を開始。</p> <p>風力発電については、平成12年11月から平成13年10月にかけて入善浄化センター内で風況調査、平成16年度に風力発電設備導入検討調査を実施、平成17年度に詳細設計、平成18年6月から平成19年10月まで風力発電設備工事を行い、稼働は、平成19年11月より開始。</p> <p>2 環境効果</p> <p>浄化センター使用電力量と風力発電量が同じ場合、風力発電機導入により、全設備稼働時に電気使用に係る二酸化炭素排出量は96%削減できるとされる。</p>
取組実績	平成19年6月から平成20年5月までの12ヵ月で、約275万kWhを発電しており、約1,257t-CO <sub>2</sub> /年の二酸化炭素削減効果
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO<sub>2</sub>を用いる</p> <p>※ (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

住宅用太陽光発電システム導入補助制度	
所管	入善町 住民環境課
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	太陽光発電導入量の拡大のため、一般住宅への太陽光発電システム設置設置費用を補助
対象	入善町内に在住で住宅用太陽光発電システムを設置された方
削減効果	370.6t-CO2/年
取組内容	<p>1 補助制度の概要</p> <p>対象者： 自ら居住する入善町内の住宅に、太陽光発電システムを設置し、かつ国と富山県の補助を受けられた方</p> <p>対象システム： 2kW以上のシステムを設置し、国と富山県の太陽光発電システム補助の要件に適合していること</p> <p>補助金額： 1件あたり10万円（年間15件） 【参考】国：1kWあたり7万円 県：1件あたり5万円</p> <p>申請方法： 入善町住民環境課窓口にて、申請書類を提出。</p> <div data-bbox="459 1144 1291 1704" data-label="Diagram"> <p>① 国と県に申請し、交付決定を受ける</p> <p>②</p> <p>補助金交付申請書</p> <p>国と県の助成を受けたことを証する書類（①の書類の写し）</p> <p>システムの概要を記載した書類</p> <p>設置に係る領収書の写し</p> <p>設置状況写真</p> <p>電力需給契約書の写し</p> <p>住民票</p> <p>（借家の場合）所有者の承諾書</p> <p>入善町</p> <p>申請者</p> <p>③ 交付決定通知</p> <p>④ 交付請求書</p> <p>⑤ 補助金支払い</p> </div> <p>2 環境効果</p> <p>5kWのシステム1台あたり2,245.9kg-CO2/年の二酸化炭素排出削減効果。毎年15件設置し、累積的に設置者が増加した場合、計画最終年において370.6t-CO2/年の削減効果。</p>
取組実績	平成21年度より実施し、同10月末現在で10名へ補助
備考	

地区公民館における太陽光発電の活用	
所管	入善町 教育委員会事務局
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	自然エネルギーの利用促進
対象	入善まちなか交流施設うるおい館・柵山地区公民館
削減効果	11.9t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>1 概要 まちなか交流施設うるおい館、柵山公民館では屋上に太陽光発電パネルを設置。発電した電力は施設内での照明などに利用。</p> <p>2 環境効果 平成20年度4月～3月の期間において、両施設の太陽光発電パネルでの発電量は、26,547kWh となり、二酸化炭素削減効果は、11.9t-CO<sub>2</sub>。</p>
取組実績	<p>うるおい館では、平成20年4月～21年3月の期間に23,944kWh を発電し、10,774.8kg-CO<sub>2</sub> の二酸化炭素削減効果。</p> <p>柵山公民館では、平成20年4月～21年3月の期間に2,603kWh を発電し、1,171.3kg-CO<sub>2</sub> の二酸化炭素削減効果。</p>
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO<sub>2</sub> を用いる ※ (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

小中学校における太陽光発電	
所管	入善町 教育委員会事務局
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	太陽光発電システムによる各学校での二酸化炭素排出抑制
対象	入善町内の小学校（4校）
削減効果	5.7t-CO2/年
取組内容	<p>スクールニューディール計画により太陽光発電システムを町内の小中学校4校（上青小学校・飯野小学校・黒東小学校・入善中学校）に設置し、クリーンエネルギーを使用することで二酸化炭素排出を抑制する。</p> <p>太陽光発電システムは、1基当たり 19.5kWh の発電量を有しており、平均日照時間 1,650 時間に乗じた場合、32,175kW/年の発電量となる。合計では、</p> $32,175\text{kW} \times 4 \text{箇所} = 128,700\text{kW}$ <p>となる。</p> <p>電気の二酸化炭素排出係数を乗じて、</p> $128,700\text{kW} \times 0.45 = 57,915 \text{ kg-CO}_2 = 5.7\text{t-CO}_2$ <p>の二酸化炭素排出削減となる。</p>
取組実績	平成 22 年度より実施
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO2 を用いる</p> <p>※（財）省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

黄色い油田プロジェクト	
所管	J Aみな穂農業協同組合
施策種別	廃油の再利用
目的・意義	家庭での廃油を再利用し、クリーンエネルギーの活用
対象	入善町内の消費者、農家
削減効果	14t-CO2/年
取組内容	<p>町内 15 箇所の回収場所で回収された食用廃油を B D F に精製し、トラクターなどの燃料に使用。</p> <p>また、廃油回収時には、1ℓ当たり 50 円でイエローマネーを交付。イエローマネーは、J Aみな穂農協の直売所で菜種油、地場農産物の購入に使うことができ、地産地消を促進する。</p> <p>廃油は、みな穂農協各支店 11 箇所、営農センター 3 箇所、直売所 1 箇所で回収。</p> <pre> graph TD     subgraph JA_Minahoshi_Association [JAみな穂農協]         Recycle[回収場所 (15箇所)]         Bank[イエローバンク ・廃油回収 ・BDF精製 ・イエローマネー発行・換金]         Direct[直売所]     end     Consumer[消費者] -- 廃油 --&gt; Recycle     Recycle -- 50円/リットルのイエローマネー交付 --&gt; Bank     Bank -- BDFの提供 --&gt; Recycle     Bank -- 80円/リットルで購入 --&gt; Farmer[農家]     Bank -- イエローマネーの換金 --&gt; Direct     Farmer -- 菜種油・地場農産物販売 --&gt; Direct     Direct -- イエローマネーで買い物 --&gt; Consumer     Farmer -- 菜種作付出荷 --&gt; Recycle   </pre>
取組実績	平成 20 年度中に廃油を 4,322ℓ 収集、655ℓ の菜種油を生産し、B D F を 3,000ℓ 精製。22 年度以降は、5,000ℓ / 年の B D F を生産していく計画で、軽油の代替エネルギーとして使用した場合、14t-CO2/年の削減効果。
備考	軽油の二酸化炭素排出係数は、2.8kg-CO2 を用いる ※環境庁「総排出量算定方法ガイドライン」より

小水力発電導入の検討	
所管	入善町
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	町内の農業用水路での小水力発電
対象	防犯灯、災害時非常用
削減効果	355t-CO2/年
取組内容	<p>入善町は、黒部川扇状地に位置し、年間を通して豊富な水量に恵まれ、農業用水路がくまなく張り巡らされており、扇状地という特性から小水力発電に適した勾配でもあるため、地域全体で小水力発電の導入に適している。</p> <p>本計画では、水力をエネルギー源として活用するとともに、町民の環境意識の向上にも役立てる小水力発電の導入を検討する。</p> <p>100kW 水力発電を設置した場合、788,400kWh/年の発電電力量が期待され、355t-CO2/年の二酸化炭素削減効果となる。</p>
取組実績	
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO2 を用いる</p> <p>※ (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

### 3 廃棄物の減量の推進施策

資源回収常設ステーション（再生広場）の設置																																																																											
所管	入善町 住民環境課																																																																										
施策種別	容器包装資源物等の回収																																																																										
目的・意義	町民への容器包装資源物等の持ち込みやすい施設を設置によるごみの減量・資源化の推進																																																																										
対象	町民																																																																										
削減効果	688.9t-CO2/年																																																																										
取組内容 取組実績	<p>1 概要 資源回収常設ステーション（再生広場）を町内の小学校区ごとに6箇所設置し、容器包装資源物（ビン、アルミ缶、スチール缶、段ボール、紙パック、その他紙容器、ペットボトル、その他プラ容器）を回収。</p> <p>また、上原再生広場・西部再生広場では、平成20年5月より、容器包装資源物に加え、新聞・雑誌の回収を開始。</p> <p>2 環境効果と取組実績 平成20年（2008年）度4月～3月の期間において、546,271kgを収集し、574t-CO2の二酸化炭素削減効果。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>CO2係数 (kg-CO2/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ガラス容器</td><td>0.219</td></tr> <tr><td>アルミ缶</td><td>1.613</td></tr> <tr><td>スチール缶</td><td>0.819</td></tr> <tr><td>段ボール</td><td>1.140</td></tr> <tr><td>紙パック</td><td>3.207</td></tr> <tr><td>その他紙</td><td>1.140</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.678</td></tr> <tr><td>その他プラ</td><td>1.535</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>0.340</td></tr> <tr><td>雑誌</td><td>0.340</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>回収量 (kg)</th> <th>CO2削減量 (kg-CO2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ガラス容器</td><td>5,828</td><td>1,276</td></tr> <tr><td>アルミ缶</td><td>37,000</td><td>59,681</td></tr> <tr><td>スチール缶</td><td>30,210</td><td>24,741</td></tr> <tr><td>段ボール</td><td>139,930</td><td>159,520</td></tr> <tr><td>紙パック</td><td>19,560</td><td>62,728</td></tr> <tr><td>その他紙</td><td>57,748</td><td>65,832</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>25,240</td><td>17,112</td></tr> <tr><td>その他プラ</td><td>87,655</td><td>134,550</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>81,980</td><td>27,873</td></tr> <tr><td>雑誌</td><td>61,120</td><td>20,780</td></tr> <tr><td>計</td><td>546,271</td><td>574,093</td></tr> </tbody> </table> <p>3 今後の推計</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>回収量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2006年</td><td>518</td></tr> <tr><td>2007年</td><td>539</td></tr> <tr><td>2008年</td><td>546</td></tr> <tr><td>2011年</td><td>570</td></tr> <tr><td>2014年</td><td>596</td></tr> <tr><td>2017年</td><td>623</td></tr> <tr><td>2020年</td><td>651</td></tr> </tbody> </table> <p>平成16年（2004年）度～平成20年（2008年）度の3年間の平均伸び率105%を3年毎の伸び率として、推計した場合、2020年には、回収率が約1.2倍の651tとなる。</p>	品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)	ガラス容器	0.219	アルミ缶	1.613	スチール缶	0.819	段ボール	1.140	紙パック	3.207	その他紙	1.140	ペットボトル	0.678	その他プラ	1.535	新聞	0.340	雑誌	0.340	品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)	ガラス容器	5,828	1,276	アルミ缶	37,000	59,681	スチール缶	30,210	24,741	段ボール	139,930	159,520	紙パック	19,560	62,728	その他紙	57,748	65,832	ペットボトル	25,240	17,112	その他プラ	87,655	134,550	新聞	81,980	27,873	雑誌	61,120	20,780	計	546,271	574,093	年	回収量 (t)	2006年	518	2007年	539	2008年	546	2011年	570	2014年	596	2017年	623	2020年	651
品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)																																																																										
ガラス容器	0.219																																																																										
アルミ缶	1.613																																																																										
スチール缶	0.819																																																																										
段ボール	1.140																																																																										
紙パック	3.207																																																																										
その他紙	1.140																																																																										
ペットボトル	0.678																																																																										
その他プラ	1.535																																																																										
新聞	0.340																																																																										
雑誌	0.340																																																																										
品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)																																																																									
ガラス容器	5,828	1,276																																																																									
アルミ缶	37,000	59,681																																																																									
スチール缶	30,210	24,741																																																																									
段ボール	139,930	159,520																																																																									
紙パック	19,560	62,728																																																																									
その他紙	57,748	65,832																																																																									
ペットボトル	25,240	17,112																																																																									
その他プラ	87,655	134,550																																																																									
新聞	81,980	27,873																																																																									
雑誌	61,120	20,780																																																																									
計	546,271	574,093																																																																									
年	回収量 (t)																																																																										
2006年	518																																																																										
2007年	539																																																																										
2008年	546																																																																										
2011年	570																																																																										
2014年	596																																																																										
2017年	623																																																																										
2020年	651																																																																										
備考	平成21年（2009年）度、中央再生広場の設置により、資源回収の機会を拡大し、目標最終年の2020年には、1.2倍の回収量651t、688.9t-CO2の二酸化炭素削減効果を目指す。																																																																										

地区ステーションでの資源回収																																																	
所管	入善町 住民環境課																																																
施策種別	容器包装資源物等の回収																																																
目的・意義	町内の各地区のごみ集積ステーションで容器包装資源物の回収によるごみの減量・資源化の推進																																																
対象	町民																																																
削減効果	86.8t-CO2/年																																																
取組内容	<p>1 概要</p> <p>町内の各地区のごみ集積ステーションで容器包装資源物（ビン、アルミ缶、スチール缶、段ボール、紙パック、その他紙容器、ペットボトル、その他プラ容器）を回収（毎月1回）。</p> <p>2 環境効果と取組実績</p> <p>平成20年度4月～3月の期間において、107,897kgを回収し、86.8t-CO2の二酸化炭素削減効果。</p> <table border="1" data-bbox="564 1050 828 1442"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>CO2係数 (kg-CO2/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ガラス容器</td><td>0.219</td></tr> <tr><td>アルミ缶</td><td>1.613</td></tr> <tr><td>スチール缶</td><td>0.819</td></tr> <tr><td>段ボール</td><td>1.140</td></tr> <tr><td>紙パック</td><td>3.207</td></tr> <tr><td>その他紙</td><td>1.140</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.678</td></tr> <tr><td>その他プラ</td><td>1.535</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="877 1030 1278 1473"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>回収量 (kg)</th> <th>CO2削減量 (kg-CO2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ガラス容器</td><td>43,946</td><td><b>9,624</b></td></tr> <tr><td>アルミ缶</td><td>7,548</td><td><b>12,174</b></td></tr> <tr><td>スチール缶</td><td>10,640</td><td><b>8,714</b></td></tr> <tr><td>段ボール</td><td>16,180</td><td><b>18,445</b></td></tr> <tr><td>紙パック</td><td>760</td><td><b>2,437</b></td></tr> <tr><td>その他紙</td><td>8,772</td><td><b>10,000</b></td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>6,240</td><td><b>4,230</b></td></tr> <tr><td>その他プラ</td><td>13,811</td><td><b>21,199</b></td></tr> <tr><td>計</td><td>107,897</td><td><b>86,823</b></td></tr> </tbody> </table>	品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)	ガラス容器	0.219	アルミ缶	1.613	スチール缶	0.819	段ボール	1.140	紙パック	3.207	その他紙	1.140	ペットボトル	0.678	その他プラ	1.535	品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)	ガラス容器	43,946	<b>9,624</b>	アルミ缶	7,548	<b>12,174</b>	スチール缶	10,640	<b>8,714</b>	段ボール	16,180	<b>18,445</b>	紙パック	760	<b>2,437</b>	その他紙	8,772	<b>10,000</b>	ペットボトル	6,240	<b>4,230</b>	その他プラ	13,811	<b>21,199</b>	計	107,897	<b>86,823</b>
品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)																																																
ガラス容器	0.219																																																
アルミ缶	1.613																																																
スチール缶	0.819																																																
段ボール	1.140																																																
紙パック	3.207																																																
その他紙	1.140																																																
ペットボトル	0.678																																																
その他プラ	1.535																																																
品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)																																															
ガラス容器	43,946	<b>9,624</b>																																															
アルミ缶	7,548	<b>12,174</b>																																															
スチール缶	10,640	<b>8,714</b>																																															
段ボール	16,180	<b>18,445</b>																																															
紙パック	760	<b>2,437</b>																																															
その他紙	8,772	<b>10,000</b>																																															
ペットボトル	6,240	<b>4,230</b>																																															
その他プラ	13,811	<b>21,199</b>																																															
計	107,897	<b>86,823</b>																																															
備考																																																	

資源回収団体報償制度							
所管	入善町 住民環境課						
施策種別	資源回収の推進						
目的・意義	各種団体による古紙回収への報償制度をもってその活動を支援し、リサイクルの普及を推進						
対象	町民各種団体						
削減効果	184.4t-CO2						
取組内容	<p>1 概要 地区婦人会やPTAなどの各種団体が行う新聞・雑誌等の資源回収量に応じて1kg当たり1円として、報償費を支払う。</p> <p>2 環境効果と取組実績 平成20年度4月～3月の期間において、のべ51団体に542,380円を報償。回収量は、542,380kgで、184.4t-CO2の二酸化炭素削減効果。</p> <table border="1" data-bbox="687 1016 1066 1240"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>CO2係数 (kg-CO2/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞</td> <td>0.340</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>0.340</td> </tr> </tbody> </table>	品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)	新聞	0.340	雑誌	0.340
品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)						
新聞	0.340						
雑誌	0.340						
備考							

生ごみ処理工具等設置事業補助金制度																													
所管	入善町 住民環境課																												
施策種別	家庭ごみの減量																												
目的・意義	生ごみ処理機を購入した世帯に対し、補助金を交付し生ごみ処理機の普及による廃棄物の減量																												
対象	町民																												
取組内容	生ごみ処理機を購入した世帯に対し、購入価格の1/3の補助金（上限2万円）を交付。交付は、1世帯あたり2基まで。																												
取組実績	<p>平成20年度4月～3月の期間において、17世帯に計323,585円の補助金を交付。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>設 置 基 数</th> <th>補 助 金 額</th> <th>補 助 率（補 助 金 額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成15年度</td> <td>17</td> <td>122,050円</td> <td>購入額（1/3）10,000円の限度額</td> </tr> <tr> <td>平成16年度</td> <td>34</td> <td>608,469円</td> <td>購入額（1/3）20,000円の限度額</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>49</td> <td>679,706円</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>27</td> <td>484,104円</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>14</td> <td>241,402円</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>17</td> <td>323,585円</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	設 置 基 数	補 助 金 額	補 助 率（補 助 金 額）	平成15年度	17	122,050円	購入額（1/3）10,000円の限度額	平成16年度	34	608,469円	購入額（1/3）20,000円の限度額	平成17年度	49	679,706円	〃	平成18年度	27	484,104円	〃	平成19年度	14	241,402円	〃	平成20年度	17	323,585円	〃
年 度	設 置 基 数	補 助 金 額	補 助 率（補 助 金 額）																										
平成15年度	17	122,050円	購入額（1/3）10,000円の限度額																										
平成16年度	34	608,469円	購入額（1/3）20,000円の限度額																										
平成17年度	49	679,706円	〃																										
平成18年度	27	484,104円	〃																										
平成19年度	14	241,402円	〃																										
平成20年度	17	323,585円	〃																										
備考																													

#### 4 森林による二酸化炭素吸収源対策

森林による二酸化炭素吸収源の確保	
所管	建設下水道課
施策種別	森林による二酸化炭素の吸収
目的・意義	入善町内の森林による二酸化炭素の吸収
対象	入善町内の森林
削減効果	900.8t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>入善町内の森林面積は、平成 19 年度で 9,210,000 m<sup>2</sup>となっており、今後は緑化推進により 6,000 m<sup>2</sup>/年ずつ拡張していくことを検討。</p> <p>京都議定書において、森林の炭素吸収源の対象として認められるのは、「森林経営活動」であり、国内の森林面積のうち経営林は、約半分にとどまるとされるので、FM率（森林経営面積割合）を乗じる。森林を樹種（スギ、ヒノキ、その他）・齢級ごとに分類し、各樹種・齢級の 1 ha 当たりの平均炭素吸収係数を乗じる。算出された吸収炭素量に 44（二酸化炭素分子量）/12（炭素分子量）を乗じて二酸化炭素の重さに換算する。</p> <p>平成 19 年時点での入善町内の森林面積の内訳（「平成 19 年度 富山県森林・林業統計書」により按分）は、</p> <p style="padding-left: 40px;">スギ 332ha ヒノキ 1ha その他 588ha (計 921ha)</p> <p>であり、二酸化炭素吸収量は、1,336.6t-CO<sub>2</sub> となる。</p> <p>計画終了年度（平成 32 年）時点での森林面積の予測は、</p> <p style="padding-left: 40px;">スギ 332ha ヒノキ 1ha その他 595ha (計 928ha)</p> <p>であり、二酸化炭素吸収量は、900.8t-CO<sub>2</sub> となる。</p>
取組実績	
備考	<p>※ 二酸化炭素吸収量は、独立行政法人森林総合研究所による吸収炭素量算出方法を参考</p> <p>※ 海岸防災林は、計算上は「その他」に分類</p>

## 5 環境教育・啓発施策

エコライフ推進出前講座																																																													
所管	入善町 住民環境課																																																												
施策種別	普及啓発																																																												
目的・意義	地区・自治公民館に出向き、地球温暖化対策などの講座開催によるエコライフの推進、啓発																																																												
対象	町民																																																												
取組内容	環境家計簿の活用法、エコドライブ、リサイクルにおける分別方法などをはじめ、各地区、団体からの要望に応じて身近で行える地球温暖化対策（エコライフ）の講座を開催。																																																												
取組実績	<p>平成20年度4月～3月の期間において、10団体のべ370人に対し実施。</p> <p style="text-align: center;">平成20年度 CO2一万t削減プロジェクト出前講座等実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>時間</th> <th>実施団体</th> <th>参加人数</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月13日 金</td> <td>18:00～18:20</td> <td>舟見十日会</td> <td>10</td> <td>環境家計簿、地球温暖化について</td> </tr> <tr> <td>6月22日 日</td> <td>19:00～20:00</td> <td>入善小学校4年生親子</td> <td>22</td> <td>ライトダウン見学会</td> </tr> <tr> <td>7月4日 金</td> <td>19:45～20:20</td> <td>目川地区</td> <td>50</td> <td>環境家計簿について</td> </tr> <tr> <td>8月30日 土</td> <td>19:30～21:00</td> <td>横山地区婦人会</td> <td>26</td> <td>CO2一万t削減プロジェクトについて</td> </tr> <tr> <td>10月24日 金</td> <td>19:30～21:00</td> <td>入善地区社会福祉協議会</td> <td>50</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月2日 日</td> <td>19:30～21:00</td> <td>神林老人クラブ・福寿会</td> <td>32</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月7日 金</td> <td>19:30～21:00</td> <td>上原地区社会福祉協議会</td> <td>30</td> <td>エコドライブ、リサイクルについて</td> </tr> <tr> <td>11月12日 水</td> <td>19:30～21:00</td> <td>舟見地区社会福祉協議会</td> <td>50</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月20日 木</td> <td>19:30～21:00</td> <td>野中地区社会福祉協議会</td> <td>35</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月27日 木</td> <td>19:30～21:00</td> <td>新屋地区社会福祉協議会</td> <td>85</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;"><b>390</b></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 参加人数は原則として実施団体側の発表による</p>	開催日	時間	実施団体	参加人数	主な内容	6月13日 金	18:00～18:20	舟見十日会	10	環境家計簿、地球温暖化について	6月22日 日	19:00～20:00	入善小学校4年生親子	22	ライトダウン見学会	7月4日 金	19:45～20:20	目川地区	50	環境家計簿について	8月30日 土	19:30～21:00	横山地区婦人会	26	CO2一万t削減プロジェクトについて	10月24日 金	19:30～21:00	入善地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて	11月2日 日	19:30～21:00	神林老人クラブ・福寿会	32	エコドライブについて	11月7日 金	19:30～21:00	上原地区社会福祉協議会	30	エコドライブ、リサイクルについて	11月12日 水	19:30～21:00	舟見地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて	11月20日 木	19:30～21:00	野中地区社会福祉協議会	35	エコドライブについて	11月27日 木	19:30～21:00	新屋地区社会福祉協議会	85	エコドライブについて	合計			<b>390</b>	
開催日	時間	実施団体	参加人数	主な内容																																																									
6月13日 金	18:00～18:20	舟見十日会	10	環境家計簿、地球温暖化について																																																									
6月22日 日	19:00～20:00	入善小学校4年生親子	22	ライトダウン見学会																																																									
7月4日 金	19:45～20:20	目川地区	50	環境家計簿について																																																									
8月30日 土	19:30～21:00	横山地区婦人会	26	CO2一万t削減プロジェクトについて																																																									
10月24日 金	19:30～21:00	入善地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて																																																									
11月2日 日	19:30～21:00	神林老人クラブ・福寿会	32	エコドライブについて																																																									
11月7日 金	19:30～21:00	上原地区社会福祉協議会	30	エコドライブ、リサイクルについて																																																									
11月12日 水	19:30～21:00	舟見地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて																																																									
11月20日 木	19:30～21:00	野中地区社会福祉協議会	35	エコドライブについて																																																									
11月27日 木	19:30～21:00	新屋地区社会福祉協議会	85	エコドライブについて																																																									
合計			<b>390</b>																																																										
備考																																																													

「エコライフチャレンジ 12」の放送																																								
所管	入善町 住民環境課																																							
施策種別	普及啓発																																							
目的・意義	CATVを活用し家庭から行える地球温暖化対策講座の放送によるエコライフの推進、啓発																																							
対象	町民																																							
取組内容	「エコライフチャレンジ 12」と題して月に1回、CATVで家庭でできる地球温暖化対策講座を放送。冷暖房機具の適切な使用など、季節に応じた地球温暖化対策を全12回放送。																																							
取組実績	<p style="text-align: center;"><b>エコライフ・チャレンジ 12 (年間計画・実施結果)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">月</th> <th style="width: 20%;">テーマ</th> <th style="width: 70%;">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>マイバック</td> <td>マイバックを携帯し、レジ袋の使用を控える</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>リサイクル</td> <td>リサイクルの推進、再生広場拡張のお知らせ</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>ブラックイルミネーション</td> <td>ブラックイルミネーションのお知らせ、照明器具の省エネ</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>COOLBIZの推進</td> <td>ノーネクタイでの仕事の推進</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>エアコンの設定温度</td> <td>設定温度は28度を目安にする</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>省エネクッキング</td> <td>土鍋を使った省エネ、電子レンジの活用など</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>エコドライブ</td> <td>燃費が良くなる運転、アイドリングストップなど</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>モニターインタビュー</td> <td>家庭モニターでの削減実績が顕著だった世帯に取組内容についてインタビュー</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>エコ掃除</td> <td>古新聞を使った掃除、掃除機の省エネなど</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>暖房器具の省エネ</td> <td>暖房器具は20℃に設定、こたつは上掛け布団、敷布団を併用</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>待機電力の削減</td> <td>家電が使われていないときの電力(待機電力)の削減</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>省エネ製品の購入</td> <td>新生活へ向けて省エネ製品の購入を勧める</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成20年度4月～3月の期間において、12回放送。</p>	月	テーマ	概要	4月	マイバック	マイバックを携帯し、レジ袋の使用を控える	5月	リサイクル	リサイクルの推進、再生広場拡張のお知らせ	6月	ブラックイルミネーション	ブラックイルミネーションのお知らせ、照明器具の省エネ	7月	COOLBIZの推進	ノーネクタイでの仕事の推進	8月	エアコンの設定温度	設定温度は28度を目安にする	9月	省エネクッキング	土鍋を使った省エネ、電子レンジの活用など	10月	エコドライブ	燃費が良くなる運転、アイドリングストップなど	11月	モニターインタビュー	家庭モニターでの削減実績が顕著だった世帯に取組内容についてインタビュー	12月	エコ掃除	古新聞を使った掃除、掃除機の省エネなど	1月	暖房器具の省エネ	暖房器具は20℃に設定、こたつは上掛け布団、敷布団を併用	2月	待機電力の削減	家電が使われていないときの電力(待機電力)の削減	3月	省エネ製品の購入	新生活へ向けて省エネ製品の購入を勧める
月	テーマ	概要																																						
4月	マイバック	マイバックを携帯し、レジ袋の使用を控える																																						
5月	リサイクル	リサイクルの推進、再生広場拡張のお知らせ																																						
6月	ブラックイルミネーション	ブラックイルミネーションのお知らせ、照明器具の省エネ																																						
7月	COOLBIZの推進	ノーネクタイでの仕事の推進																																						
8月	エアコンの設定温度	設定温度は28度を目安にする																																						
9月	省エネクッキング	土鍋を使った省エネ、電子レンジの活用など																																						
10月	エコドライブ	燃費が良くなる運転、アイドリングストップなど																																						
11月	モニターインタビュー	家庭モニターでの削減実績が顕著だった世帯に取組内容についてインタビュー																																						
12月	エコ掃除	古新聞を使った掃除、掃除機の省エネなど																																						
1月	暖房器具の省エネ	暖房器具は20℃に設定、こたつは上掛け布団、敷布団を併用																																						
2月	待機電力の削減	家電が使われていないときの電力(待機電力)の削減																																						
3月	省エネ製品の購入	新生活へ向けて省エネ製品の購入を勧める																																						
備考																																								

グリーンカーテンプロジェクト	
所管	入善町
施策種別	省エネルギー、普及啓発
目的・意義	身近な吸収源対策として緑化を実施し、実際の吸収源対策としての効果や地球温暖化対策の普及啓発
対象	入善町庁舎ほか公共施設、町民
取組内容	<p>公共施設などの緑化を推進する。</p> <p>夏季の外部からの日差しや熱を遮断することで、冷房等施設そのものの省エネルギー化を行う。</p> <p>また、建物外部を緑化することで、目に見える地球温暖化対策としての啓発も図る。</p>
取組実績	<p>平成 20 年度入善町庁舎で実施したアサガオのグリーンカーテン。</p> 
備考	

はじめてのエコライフ教室	
所管	富山県、富山県地球温暖化防止活動推進員、入善町住民環境課
施策種別	環境教育
目的・意義	家庭・学校・地域など幅広い年齢層におけるエコライフの実践を推進するため、幼児と保護者等による地球温暖化やエコライフについて学ぶ「はじめてのエコライフ教室」事業を保育所で実施する。
対象	保育所の児童及びその親子・保育所職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園・保育所において、省エネやごみ分別等のエコライフについて学ぶ「はじめてのエコライフ教室」を実施。</li> <li>● エコライフを学んだ幼児が、家族と相談の上、蛇口はこまめにしめよう、ごみは分別しよう等の取組項目を3つ選択し、家族とともに1週間実践。また、取組結果を3段階で自己評価。</li> <li>● 幼稚園・保育所においても、取組項目を3つ選択し、職員と幼児が1週間実践。取組結果を3段階で自己評価。</li> <li>● 県において取組結果を取りまとめ、今後の取組み等をアドバイス。</li> </ul>
取組実績	<p>平成 21 年 9 月 30 日、入善町の西部保育所で富山県と富山県地球温暖化防止活動推進員が実施した、はじめてのエコライフ教室の様子。</p> 
備考	

環境フェアの開催	
所管	入善町 住民環境課
施策種別	普及啓発
目的・意義	町民、企業、行政が一体となった環境フェアを開催し、地球温暖化対策への意識を共有し、取り組みの普及を図る
対象	町民、企業
取組内容	<p>①体験型コーナー：自分で電気を作ってみよう（自転車発電・人力発電） カキ氷・新幹線・メリーゴーランド・ポップコーン・綿菓子・自転車発電コンサート・たこ焼き・たい焼き・人力発電エコリンピック・理科教室（水の電気分解など）</p> <p>②環境教育：STOP！地球温暖化！教室（入善町内の小学生とその親を対象とした地球温暖化防止教室）</p> <p>③環境写真展：入善町の環境を写真に撮って応募してもらう。</p> <p>④新エネルギー展示：風力・バイオマス・水力・太陽光・温度差エネルギー・廃棄物発電・クリーンエネルギー自動車</p> <p>⑤企業出展ブース</p> <p>⑥環境ポスター</p> <p>⑦環境鼓笛隊</p>
取組実績	平成 21 年度来場者数：1,800 人
備考	

●具体的な対策による削減見込み数量

これら具体的な対策による削減見込みは、17,832.3t-CO<sub>2</sub> となり、2005年度の二酸化炭素排出量 216,371t-CO<sub>2</sub> の 8.2%に相当します。これに表下の注(※)の対応の上乗せにより削減を 10%とする。

(単位:t-CO<sub>2</sub>)

CO <sub>2</sub> 削減実践プログラムと環境家計簿の配布	4,155.0
企業モニター調査の実施	10,157.2
下水浄化センターでの風力発電	1,257.0
地区公民館での太陽光発電	11.9
小中学校における太陽光発電	5.7
住宅用太陽光発電システム導入事業補助金制度	370.6
黄色い油田プロジェクト	14.0
再生広場での資源回収	688.9
ごみステーションでの資源回収	86.8
資源回収団体報奨制度	184.4
森林による吸収源対策	900.8
計	17,832.3

※ 上記表中以外に小水力発電の利用をはじめ、国及び県が助成する制度による二酸化炭素削減関連諸施策の普及により削減量の上乗せを見込む

### 第3節 原単位の変更による二酸化炭素排出削減量の見込み

入善町地球温暖化対策地域推進計画による直接的な取り組みではありませんが、二酸化炭素削減に関する考え方に影響する大きな要因として、電力会社の発電時の二酸化炭素排出原単位の変化が挙げられます。計画では、計画による地球温暖化対策（二酸化炭素削減）施策以外に、社会的要因として地域での電気使用における二酸化炭素排出原単位の変化を見込み、2020年度における二酸化炭素排出量のより実状に近いものを推計します。

入善町への電力を供給している北陸電力では、2008年から2012年までの5ヵ年平均で原単位を0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWhとする環境目標を掲げています。この目標が達成・維持されるとして、2020年度における入善町での電気使用による原単位を0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWhとします。

2005年度の北陸電力から入善町全体への電力販売量が370,200MWhであり、2020年度までに計画の地球温暖化対策によって電気使用による二酸化炭素排出量が10%削減され333,180MWhとなったと仮定し、平成17年当時の原単位である0.407kg-CO<sub>2</sub>/kWhを乗じた場合、135,604t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素排出量となります。それに対して、北陸電力の環境目標の原単位0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWhを乗じた場合は、106,618t-CO<sub>2</sub>となるので、これらの差の28,987t-CO<sub>2</sub>を削減効果として見込みます。社会的要因による二酸化炭素排出削減量の28,987t-CO<sub>2</sub>は、2005年度の二酸化炭素排出量の13%に相当します。

	2005年度		2020年度推計	
	入善町全体での電気使用量	370,200MWh		333,180MWh
二酸化炭素排出量	係数0.407	150,671t-CO <sub>2</sub>	係数0.407①	135,604t-CO <sub>2</sub>
			係数0.32②	106,618t-CO <sub>2</sub>
二酸化炭素削減量	(①－②)		28,987t-CO <sub>2</sub>	
二酸化炭素削減率	(2005年度排出量216,371t-CO <sub>2</sub> に対して)		13.4%	